

## 平成 20 年（2008 年）の三宅島の火山活動

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

三宅島では、1 月 7 日及び 5 月 8 日に山頂火口でごく小規模な噴火が発生しました。山頂火口からの二酸化硫黄放出量は一日あたり 1 千～3 千トンで推移し、依然として多量の火山ガス放出が続きました。

### ○ 2008 年の活動概況

#### ・噴火活動の状況（図 2、図 3、図 4、図 5、図 6-①、表 1）

1 月 7 日 06 時 54 分頃、山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、山頂火口から灰色の噴煙が火口縁上 300m まで上がり、南東に流れるのを観測しました。1 月 7 日午前中に行った現地調査では、島の東から南東の範囲（山頂火口から約 3 km）で微量の降灰を確認しました（噴火の発生は 2006 年 8 月 23 日以来）。

5 月 8 日 08 時 32 分頃、山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、山頂火口から灰色の噴煙が火口縁上 200m まで上がり、南東に流れるのを観測しました。同日午前中に行った現地調査では、都道 212 号沿いに降灰は確認されませんでした。

#### ・噴煙など表面現象、火山ガスの状況（図 1、図 6-②③、表 2）

噴煙高度は火口縁上 100～300m で推移しました。

山頂火口からの二酸化硫黄放出量は消長を繰り返しながら一日あたり 1 千～3 千トンで推移し、依然として多量の火山ガス放出が続きました。

#### ・火口及び山体内の熱の状況（図 8）

地磁気連続観測<sup>1)</sup>では、短期的には火山体内部の熱の状態に大きな変化はありませんでした。

- 1) 山頂火口の北側（三宅島 A 点）で全磁力値が増加（図 8 で上向きの変化）、南側（三宅島 A 点以外の観測点）で減少（図 8 で下向きの変化）の変化がみられた場合は、火山体内部で温度上昇があったと考えられます。

---

この資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

※ この資料は気象庁のほか、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

・地震や微動の発生状況（図 6-④⑤⑥、図 7、表 3）

火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続きました。4 月 11 日には、空振<sup>2)</sup>を伴う振幅のやや大きな低周波地震<sup>3)</sup>（波形例は図 11 を参照）が発生し、島内で震度 1 を観測しました。9 月 23 日には、振幅の大きな高周波地震（波形例は図 11 参照）が発生し、島内で震度 1 を観測しました。火山性地震の震源はほとんどが山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特に変化はありませんでした。

8 月以降、振幅の小さな火山性微動が時々観測されました。

2) 噴火などで発生した空気の急激な圧力変化が大気中を周囲に伝わる現象。

3) 周期の長い波を特徴とした地震。三宅島では、空振を伴う低周波地震が発生した場合には、山頂火口から火山灰噴出を伴うことがあります。

・地殻変動の状況（図 9）

GPS 連続観測によると、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら、継続しました。



図 1 三宅島 山頂火口からの噴煙の状況

2008 年 3 月 29 日：山頂火口東側から撮影、坪田（三宅島空港）遠望カメラによる。



図 2 三宅島 山頂火口からの噴煙の状況  
2008 年 1 月 7 日：山頂火口東側から撮影、坪田（三宅島空港）遠望カメラによる。

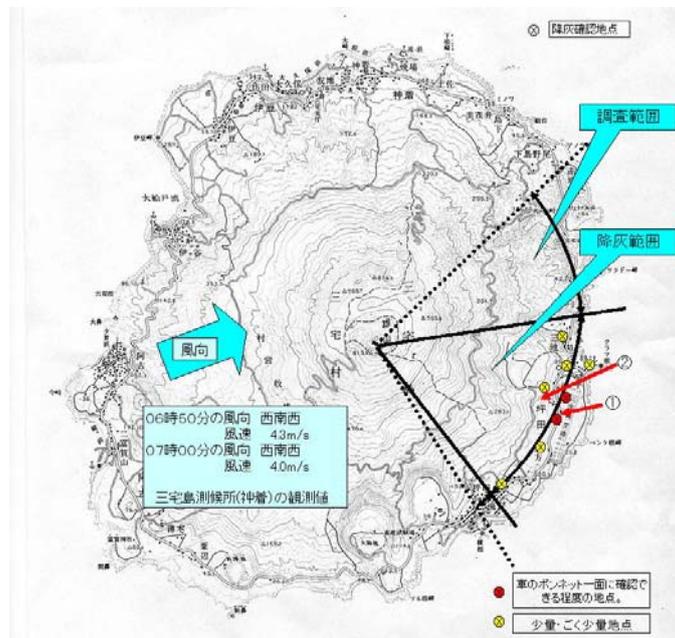


図 3 降灰調査結果



図 4 三宅島空港（図 3 の①）での降灰状況  
（自動車のボンネットに火山灰付着）



図 5 図 4 のボンネット部拡大写真

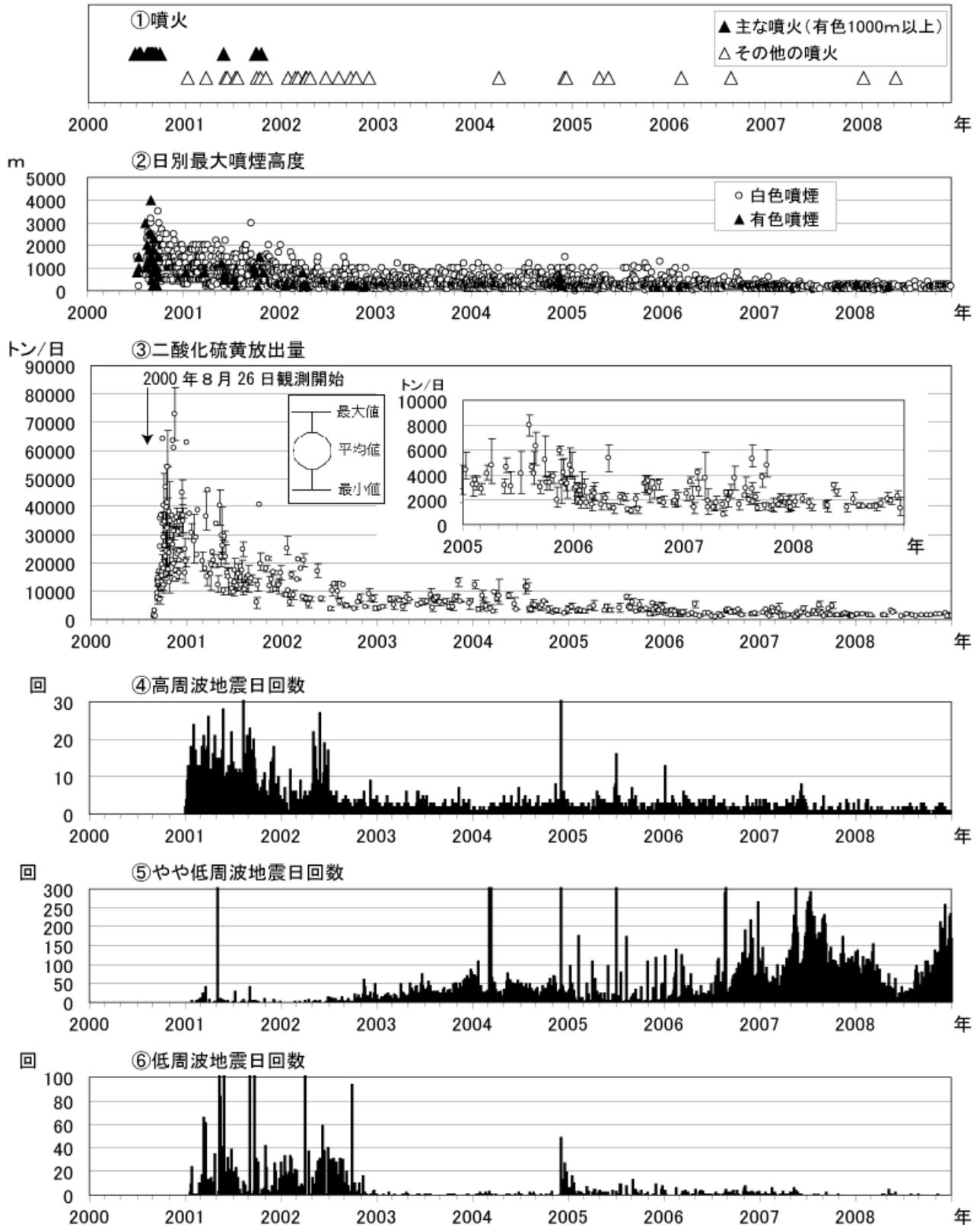


図 6 三宅島 最近の火山活動の推移 (2000 年 1 月～2008 年 12 月)

③：観測は陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、海上保安庁、東京消防庁及び警視庁の協力による

④⑤⑥：地震の種類別 (図 11 参照) に計数を開始した 2001 年 1 月 1 日からのデータを掲載

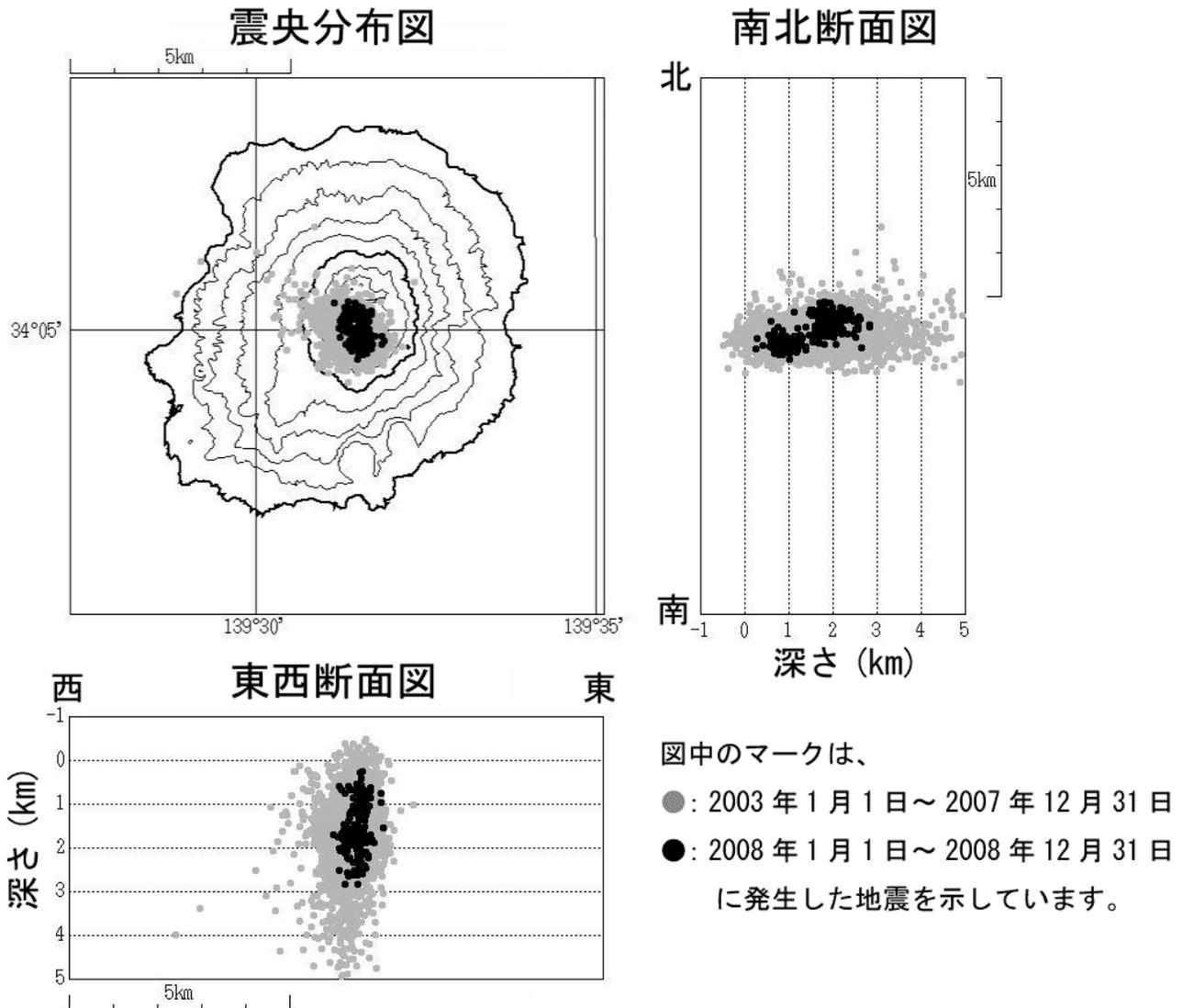


図7※ 三宅島 火山性地震の震源分布 (2003年1月1日～2008年12月31日)

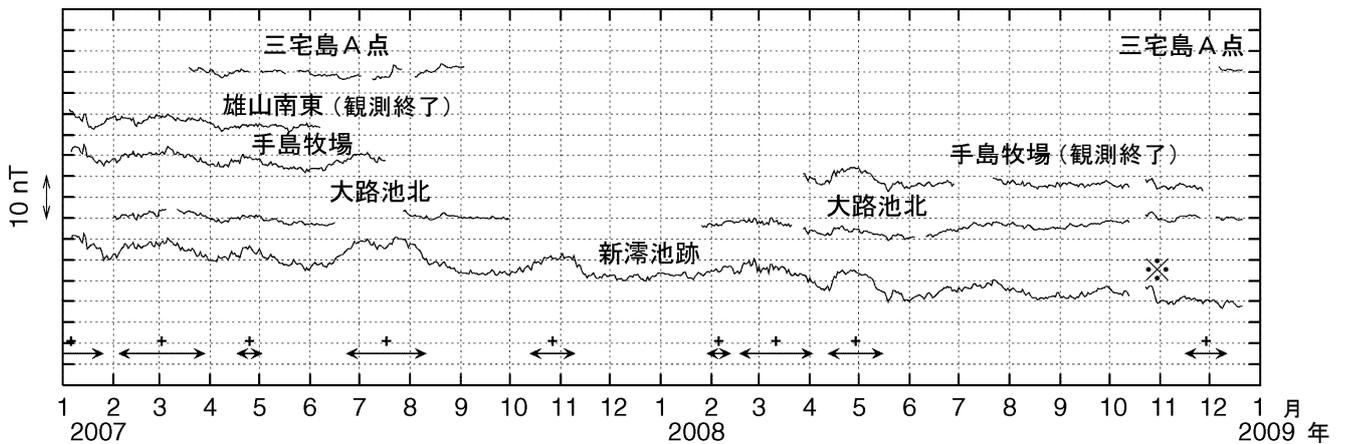


図8 三宅島 全磁力連続観測による全磁力値の変化 (2007年1月1日～2008年12月24日)

↔で示した期間の全磁力値は三宅島周辺の海流の影響を受けていると推測されます。

nT (ナノテスラ) は磁場の強さを表す単位です。

※ 2008年10月下旬の全磁力減少の原因は不明ですが、黒潮の流軸が離れていく場合に同様の傾向がみられます。

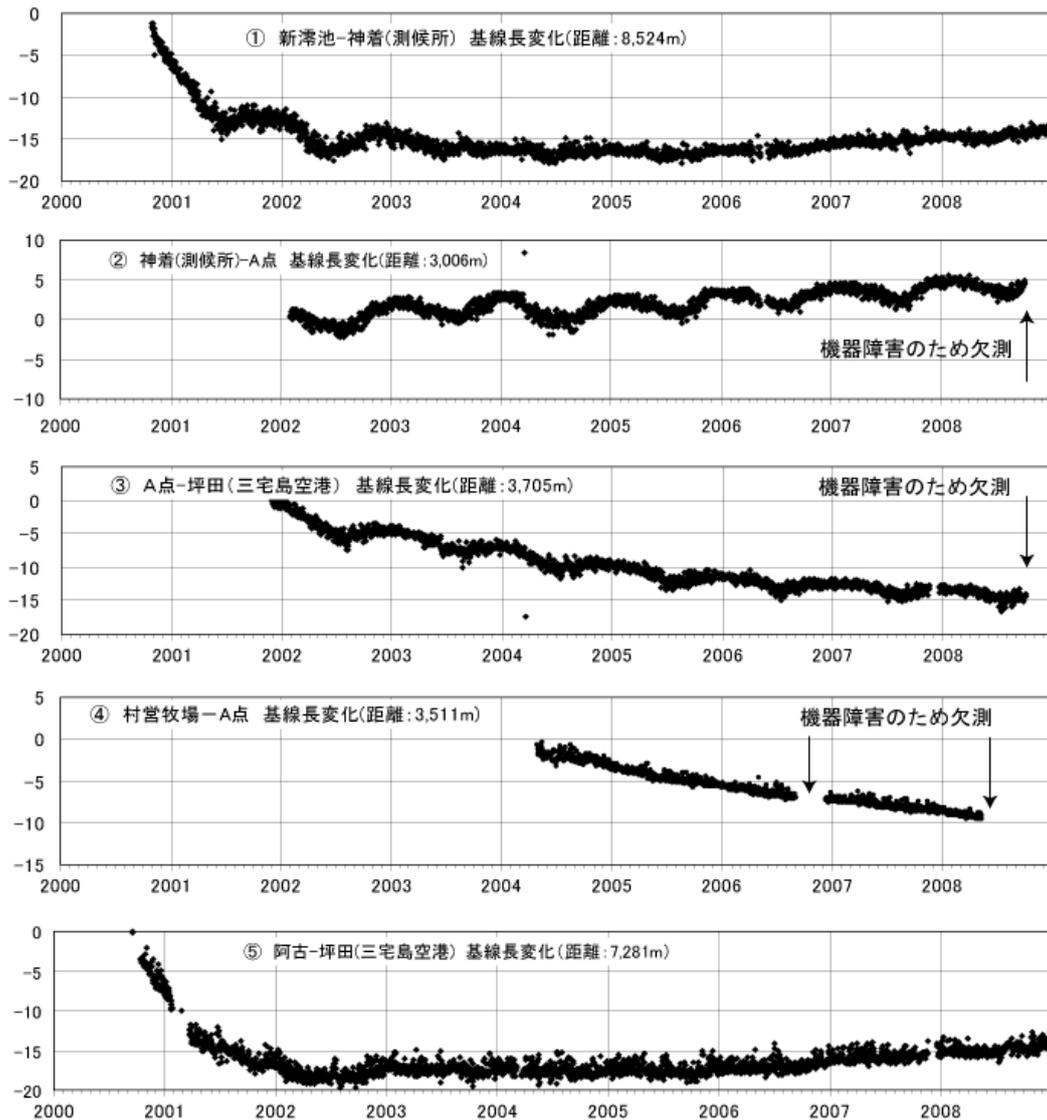
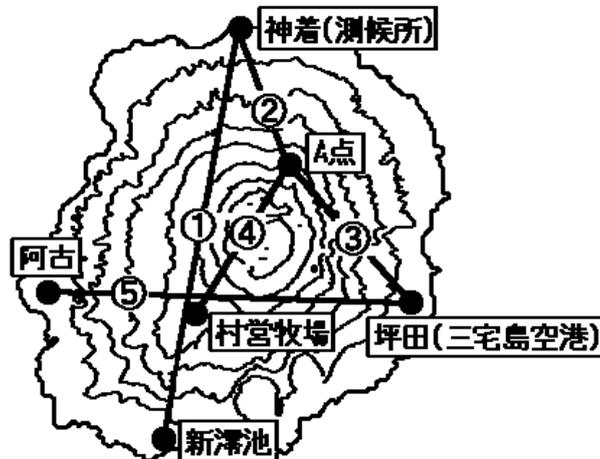


図 9 三宅島 GPS 連続観測による基線長変化 (2001 年 3 月～2008 年 12 月)  
 基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。  
 ①～⑤は図 10 の GPS 基線①～⑤に対応しています。



国土地理院 数値地図  
 50m メッシュ (標高) 使用

図 10 三宅島 GPS 連続観測点配置図

表1 三宅島 2001年以降の噴火リスト<sup>注)</sup>

		日時	噴煙			震動波形	空振	備考
			高さ	色	流向			
2001	1	01/01/11 10:38	800	灰白色	東	不明		
	2	01/03/19 06:48	800	灰白色	南西	低周波地震		07:40頃まで継続。前日午後は低周波地震群発状態
	3	01/05/27 05:05	×(雲)	灰白色	東	低周波地震	あり	都道沿いで降灰確認(どちらのイベントによるものかは不明)
	4	01/05/27 06:04	1,200	灰白色	東	低周波地震	あり	
	5	01/06/03 06:34	700	灰白色	南東	低周波地震	あり	都道沿いで降灰確認
	6	01/06/10 19:25	500	灰白色	東	低周波地震	あり	
	7	01/06/13 02:29	×(雲)		(東)	低周波地震	あり	空港カメラに火山灰が少量付着。
	8	01/06/24 20:12	×(雲・夜)		(西)	低周波地震	あり	翌朝の現地調査で、自動車に灰混じりの雨が降った
		01/06/24 22:34	×(雲・夜)		(西)	低周波地震		あとを確認
	9	01/07/10 06:38	500	灰白色	南西	低周波地震		
	10	01/07/10 08:23	500	灰白色	南西	低周波地震		
	11	01/07/18 17:42	×(雲)	灰白色	北東	低周波地震	あり	
	12	01/09/26 11:32	1000	灰白色	東	低周波地震		
	13	01/09/27 21:28	1000	灰白色	北西	低周波地震	あり	22:15頃まで継続。都道沿いで降灰確認(どちらのイベントによるものかは不明)
	14	01/09/27 23:04	800	灰白色	北西	低周波地震	あり	
	15	01/09/28 05:28	800	灰色	北東	微動	あり	都道沿いで降灰確認
	16	01/10/11 03:34	×(雲)		東	微動	あり	都道沿いで降灰確認
	17	01/10/11 09:02	100未満	灰白色	東	なし		火口縁に降灰するのを確認
	18	01/10/16 07:22	1500	灰色	北西	微動	あり	都道沿いで降灰確認
19	01/11/01 12:32	800	灰白色	北東	低周波地震	あり	都道沿いで降灰確認	
2002	1	02/01/23 12:34	200	灰白色	東	低周波地震	あり	都道沿いで降灰確認
	2	02/02/21 17:37	300	灰白色	東北東	低周波地震	あり	都道沿いで降灰確認
	3	02/03/02 05:53	×(雲)	灰白色	北西	低周波地震	あり	都道沿い(サター岬付近)で降灰確認
	4	02/03/02 06:12	×(雲)	灰白色	北西	低周波地震	あり	
	5	02/03/31 06:03	800	灰色	北東	微動	あり	都道沿いで降灰確認
	6	02/04/02 10:02	300	灰白色	東	低周波地震	あり	都道沿い(空港付近)で降灰確認
	7	02/04/03 10:41	200	灰白色	北東	低周波地震	あり	
	8	02/04/16 06:00	×(雲)		北東	低周波地震	あり	都道沿いで降灰確認
	9	02/06/15 16:19	500	灰白色	北東	低周波地震	あり	都道沿いで降灰確認
	10	02/08/01 17:42	×(雲)		東	微動	あり	都道沿い(三池港)で降灰確認
	11	02/09/16 05:10	×(雲)		南西	不明		都道沿いで降灰確認
	12	02/10/08 14:51	200	灰白色	東	なし		空港カメラに火山灰が少量付着
	13	02/11/24 13:16	×(雲)		南～南西	低周波地震		都道沿いで降灰確認
2004	1	04/11/30 07:46	300	灰色	東	低周波地震	あり	空港カメラに火山灰が少量付着
	2	04/12/02 16:45	600	灰色	南西	低周波地震	あり	都道沿いで降灰確認
	3	04/12/7 15～ 04/12/8 06	×(夜間)		(東)	低周波地震	あり	8日朝に火口東3kmの地点で降灰確認 7日17時～8日06時に発生した低周波地震に伴うと思われる
	4	04/12/09 06:16	×(雲)		(西南西)	低周波地震	あり	小手倉カメラに火山灰が付着
2005	1	05/04/12 04:45	×(雲)		(南西)	低周波地震	あり	都道沿いで降灰確認
	2	05/05/18 02:41	200	白色	(北)	低周波地震	あり	都道沿いで降灰確認
2006	1	06/2/17 22:38～ 06/2/17 23:34	300	白色	(東～ 東南東)	低周波地震	あり	都道沿いで降灰確認
	2	06/08/23 04:28	500 700	灰色 白色	南東	低周波地震	あり	空港カメラで灰色の噴煙を確認 島南東部の都道沿いで降灰を確認
2008	1	08/01/07 06:54	300	灰色 白色	南東	やや低周波地震	あり	空港カメラで灰色の噴煙を確認 島の東から南東部の都道沿いで降灰を確認
	2	08/05/08 08:32	200	灰色	南東	低周波地震	あり	小手倉カメラ、空港カメラで灰色の噴煙を確認

注) 遠望カメラで有色噴煙を観測したもの、又は山麓で降灰を確認したものに限り。

表2 三宅島 2008年の火山活動状況

1月	噴火回数	火山性地震回数4)			微動回数	噴煙の状況5)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	134	0	0	×	×	
2日	0	0	104	0	0	×	×	
3日	0	0	83	0	0	×	×	
4日	0	0	61	0	0	×	×	
5日	0	0	57	0	0	200	1	
6日	0	1	93	0	0	200	1	
7日	1	1	54	0	0	—	—	06時54分ごく小規模な噴火、山麓でごく微量の降灰
8日	0	1	98	0	0	—	—	二酸化硫黄放出量 1,400~2,400トン/日
9日	0	0	97	0	0	200	1	
10日	0	0	138	0	0	—	—	
11日	0	4	95	0	0	200	2	
12日	0	0	>71	0	0	×	×	
13日	0	0	90	0	0	×	×	
14日	0	0	70	0	0	200	1	
15日	0	0	68	0	0	300	2	
16日	0	0	90	0	0	100	1	
17日	0	0	56	0	0	×	×	
18日	0	0	76	0	0	100	1	
19日	0	0	60	0	0	200	1	
20日	0	0	65	0	0	300	1	
21日	0	0	63	0	0	×	×	
22日	0	1	36	0	0	×	×	
23日	0	0	50	0	0	×	×	
24日	0	0	47	0	0	—	—	
25日	0	0	49	0	0	300	2	
26日	0	0	40	0	0	×	×	
27日	0	0	26	0	0	200	1	
28日	0	0	46	0	0	200	1	
29日	0	0	83	0	0	×	×	
30日	0	0	121	0	0	—	—	二酸化硫黄放出量 1,800~2,500トン/日
31日	0	1	118	0	0	200	1	
合計	1	9	>2339	0	0			

2月	噴火回数	火山性地震回数4)			微動回数	噴煙の状況5)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	85	0	0	100	1	
2日	0	0	62	0	0	×	×	
3日	0	1	86	0	0	×	×	
4日	0	0	79	0	0	300	1	
5日	0	1	84	0	0	×	×	
6日	0	0	90	0	0	100	1	
7日	0	0	56	0	0	×	×	
8日	0	1	87	0	0	×	×	
9日	0	3	82	0	0	200	1	
10日	0	0	69	0	0	200	1	
11日	0	0	96	0	0	100	1	
12日	0	0	113	0	0	×	×	
13日	0	0	65	0	0	×	×	
14日	0	4	87	0	0	×	×	
15日	0	0	104	0	0	×	×	
16日	0	4	114	0	0	100	1	
17日	0	0	90	0	0	100	1	
18日	0	0	95	0	0	300	1	
19日	0	0	85	0	0	300	2	
20日	0	0	114	0	0	100	1	二酸化硫黄放出量 1,300~2,100トン/日
21日	0	0	111	0	0	200	1	
22日	0	0	106	0	0	×	×	
23日	0	0	58	0	0	×	×	
24日	0	1	74	0	0	100	1	
25日	0	0	93	0	0	100	1	
26日	0	0	92	0	0	×	×	
27日	0	0	74	0	0	200	1	
28日	0	0	50	0	0	×	×	
29日	0	2	80	0	0	200	1	二酸化硫黄放出量 1,100~1,600トン/日
合計	0	17	2481	0	0			

3月	噴火回数	火山性地震回数4)			微動回数	噴煙の状況5)		備考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		噴煙高度(m)	噴煙量	
1日	0	0	94	0	0	×	×	
2日	0	0	59	0	0	200	1	
3日	0	0	67	0	0	200	1	
4日	0	0	76	0	0	200	1	
5日	0	0	120	0	0	200	1	
6日	0	0	133	0	0	200	1	
7日	0	0	112	0	0	100	1	
8日	0	0	111	0	0	200	1	
9日	0	0	156	0	0	200	1	
10日	0	1	123	0	0	×	×	
11日	0	0	>56	0	0	300	2	
12日	0	0	>15	0	0	×	×	
13日	0	0	80	0	0	×	×	
14日	0	>1	>41	0	0	×	×	
15日	0	0	>0	0	0	200	1	
16日	0	1	>22	0	0	×	×	
17日	0	0	65	0	0	50	1	
18日	0	1	78	0	0	×	×	
19日	0	1	82	0	0	×	×	
20日	0	0	35	0	0	×	×	
21日	0	0	21	0	0	—	—	
22日	0	1	84	0	0	200	1	
23日	0	1	100	0	0	200	1	
24日	0	0	53	0	0	×	×	
25日	0	2	74	0	0	400	2	
26日	0	2	67	0	0	×	×	
27日	0	1	68	0	0	100	1	
28日	0	0	62	0	0	—	—	
29日	0	0	75	0	0	200	1	
30日	0	1	57	0	0	×	×	
31日	0	0	45	0	0	×	×	
合計	0	>13	>2232	0	0			

4月	噴火回数	火山性地震回数4)			微動回数	噴煙の状況5)		備考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	86	0	0	100	1	
2日	0	0	75	0	0	200	1	
3日	0	0	68	0	0	100	1	
4日	0	1	31	0	0	100	1	
5日	0	1	31	0	0	100	1	
6日	0	0	23	0	0	100	1	
7日	0	0	31	0	0	×	×	
8日	0	0	15	0	0	×	×	
9日	0	0	52	0	0	×	×	
10日	0	2	34	0	0	×	×	
11日	0	0	36	1	0	×	×	23時29分 震度1:三宅村神着,三宅村坪田
12日	0	0	30	0	0	×	×	
13日	0	1	32	0	0	×	×	
14日	0	0	21	0	0	×	×	
15日	0	0	22	0	0	200	1	二酸化硫黄放出量 1,300~1,900トン/日
16日	0	0	24	0	0	300	1	
17日	0	1	36	0	0	×	×	
18日	0	0	45	1	0	×	×	
19日	0	0	46	0	0	50	1	
20日	0	0	50	0	0	×	×	
21日	0	0	26	0	0	200	1	二酸化硫黄放出量 1,000~2,000トン/日
22日	0	0	17	0	0	200	1	
23日	0	0	18	0	0	300	2	
24日	0	0	10	0	0	×	×	
25日	0	0	23	0	0	×	×	
26日	0	1	23	0	0	100	1	
27日	0	1	27	0	0	—	—	
28日	0	0	28	0	0	—	—	
29日	0	1	23	0	0	200	1	
30日	0	1	20	0	0	100	1	
合計	0	10	1003	2	0			

5月	噴火回数	火山性地震回数4)			微動回数	噴煙の状況5)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	41	0	0	×	×	
2日	0	1	44	0	0	×	×	
3日	0	1	23	0	0	×	×	
4日	0	1	22	0	0	×	×	
5日	0	1	16	0	0	×	×	
6日	0	0	30	0	0	100	1	
7日	0	0	40	0	0	100	1	
8日	0	0	76	5(4)	0	100	1	08時32分ごく小規模な噴火、山麓で降灰は観測されず
9日	0	1	8	0	0	100	1	
10日	0	0	19	0	0	×	×	
11日	0	1	13	0	0	×	×	
12日	0	1	27	0	0	×	×	
13日	0	0	20	0	0	×	×	
14日	0	0	40	0	0	×	×	
15日	0	0	31	0	0	-	-	二酸化硫黄放出量 2,800~3,400トン/日
16日	0	0	26	0	0	300	1	
17日	0	0	22	0	0	200	1	
18日	0	0	32	1	0	×	×	
19日	0	0	25	0	0	×	×	
20日	0	2	35	0	0	×	×	
21日	0	2	26	0	0	200	1	二酸化硫黄放出量 2,300~2,900トン/日
22日	0	0	29	0	0	×	×	
23日	0	0	22	0	0	×	×	
24日	0	0	21	0	0	×	×	
25日	0	0	25	0	0	×	×	
26日	0	1	37	0	0	200	1	
27日	0	0	26	0	0	×	×	
28日	0	1	24	0	0	×	×	
29日	0	0	33	0	0	×	×	
30日	0	0	32	0	0	×	×	
31日	0	0	64	2	0	×	×	
合計	0	13	929	8(4)	0			

6月	噴火回数	火山性地震回数4)			微動回数	噴煙の状況5)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	6	0	0	300	2	
2日	0	1	3	0	0	100	1	
3日	0	0	6	0	0	×	×	
4日	0	1	13	0	0	×	×	
5日	0	0	6	0	0	×	×	
6日	0	0	9	0	0	200	1	
7日	0	1	4	0	0	100	1	
8日	0	0	6	0	0	100	1	
9日	0	1	8	0	0	100	1	
10日	0	2	9	0	0	200	1	
11日	0	0	13	0	0	100	1	
12日	0	0	8	0	0	100	1	
13日	0	0	7	0	0	200	1	
14日	0	0	15	0	0	100	1	
15日	0	0	16	0	0	100	1	
16日	0	1	23	0	0	300	1	
17日	0	0	13	0	0	300	1	
18日	0	0	11	0	0	300	2	
19日	0	1	11	0	0	×	×	
20日	0	0	16	0	0	×	×	
21日	0	1	14	0	0	×	×	
22日	0	0	10	0	0	×	×	
23日	0	0	11	0	0	×	×	
24日	0	1	11	0	0	400	2	二酸化硫黄放出量 1,000~1,700トン/日
25日	0	1	12	0	0	200	1	
26日	0	0	41	0	0	×	×	
27日	0	0	21	0	0	×	×	
28日	0	0	9	0	0	×	×	
29日	0	2	23	0	0	×	×	
30日	0	0	16	0	0	×	×	
合計	0	13	371	0	0			

7月	噴火回数	火山性地震回数4)			微動回数	噴煙の状況5)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	14	0	0	×	×	
2日	0	1	6	0	0	200	1	
3日	0	0	18	0	0	×	×	
4日	0	0	21	0	0	×	×	
5日	0	2	8	0	0	×	×	
6日	0	1	13	0	0	×	×	
7日	0	1	15	0	0	×	×	
8日	0	0	30	0	0	×	×	
9日	0	0	23	0	0	200	1	
10日	0	0	10	0	0	100	1	
11日	0	0	19	0	0	×	×	
12日	0	1	22	0	0	×	×	
13日	0	0	24	0	0	100	×	
14日	0	0	18	0	0	×	×	
15日	0	0	24	0	0	×	×	
16日	0	0	27	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,600~2,600トン/日
17日	0	2	12	0	0	×	×	
18日	0	1	30	0	0	×	×	
19日	0	0	17	0	0	200	1	
20日	0	2	20	0	0	200	1	
21日	0	0	11	0	0	×	×	
22日	0	0	22	0	0	×	×	
23日	0	0	15	0	0	×	×	
24日	0	0	27	0	0	200	1	
25日	0	0	29	0	0	-	-	
26日	0	0	19	0	0	300	1	
27日	0	3	37	0	0	×	×	
28日	0	0	23	0	0	×	×	
29日	0	0	21	0	0	×	×	
30日	0	0	20	1	0	×	×	
31日	0	0	18	0	0	100	1	
合計	0	14	613	1	0			

8月	噴火回数	火山性地震回数4)			微動回数	噴煙の状況5)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	1	15	0	0	×	×	
2日	0	2	17	0	0	×	×	
3日	0	1	20	0	1	×	×	
4日	0	1	17	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,300~1,800トン/日
5日	0	0	15	0	0	×	×	
6日	0	0	33	0	0	×	×	
7日	0	0	28	0	2	×	×	
8日	0	0	8	0	1	-	-	
9日	0	0	7	0	0	×	×	
10日	0	1	28	0	0	×	×	
11日	0	1	29	0	0	×	×	
12日	0	0	32	0	0	×	×	
13日	0	0	56	0	0	×	×	
14日	0	1	40	0	0	×	×	
15日	0	0	32	0	0	×	×	
16日	0	0	56	0	0	400	2	
17日	0	1	84	0	0	×	×	
18日	0	0	49	0	0	×	×	
19日	0	1	71	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,400~1,500トン/日
20日	0	0	37	0	0	200	1	
21日	0	2	96	0	0	×	×	
22日	0	1	70	0	0	×	×	
23日	0	1	55	0	0	×	×	
24日	0	0	36	0	0	×	×	
25日	0	0	34	0	0	×	×	
26日	0	1	42	0	0	×	×	
27日	0	0	63	0	0	×	×	
28日	0	1	77	1(1)	0	×	×	
29日	0	0	11	0	0	×	×	
30日	0	0	10	0	0	×	×	
31日	0	0	0	0	0	×	×	
合計		16	1168	1(1)	4			

9月	噴火回数	火山性地震回数4)			微動回数	噴煙の状況5)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	19	0	0	×	×	
2日	0	0	25	0	0	×	×	
3日	0	1	14	0	0	×	×	
4日	0	0	28	0	0	×	×	
5日	0	0	28	0	1	×	×	
6日	0	2	20	0	0	×	×	
7日	0	3	30	0	0	×	×	
8日	0	3	46	0	0	300	1	
9日	0	1	73	0	0	100	1	
10日	0	0	81	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,300~1,700トン/日
11日	0	1	77	0	0	×	×	
12日	0	1	67	0	0	×	×	
13日	0	1	40	0	0	-	-	
14日	0	2	31	0	1	×	×	
15日	0	0	47	0	0	×	×	
16日	0	2	26	0	0	×	×	
17日	0	0	56	0	0	×	×	
18日	0	3	44	0	0	×	×	
19日	0	1	36	0	0	×	×	
20日	0	0	38	0	0	200	1	
21日	0	0	63	0	0	×	×	
22日	0	0	65	0	0	×	×	
23日	0	2	63	0	1	×	×	21時42分 震度1:三宅村神着,三宅村坪田
24日	0	0	86	0	0	×	×	
25日	0	0	71	0	0	×	×	
26日	0	0	110	0	0	×	×	
27日	0	0	105	0	0	100	1	
28日	0	0	88	0	0	100	1	
29日	0	1	74	0	0	×	×	
30日	0	1	108	0	0	×	×	
合計		25	1659	0	3			

10月	噴火回数	火山性地震回数4)			微動回数	噴煙の状況5)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	105	0	1	×	×	
2日	0	1	100	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,100~1,800トン/日
3日	0	0	96	0	0	100	1	
4日	0	1	97	0	0	400	2	
5日	0	0	65	0	0	×	×	
6日	0	1	96	0	0	×	×	
7日	0	1	73	0	0	×	×	
8日	0	0	78	0	1	×	×	
9日	0	0	50	0	0	×	×	
10日	0	0	21	0	0	×	×	
11日	0	0	75	0	0	100	1	
12日	0	0	51	0	0	×	×	
13日	0	0	32	0	0	200	1	
14日	0	0	31	0	0	200	1	
15日	0	0	46	0	1	200	1	
16日	0	0	66	0	1	×	×	二酸化硫黄放出量 1,400~2,100トン/日
17日	0	0	60	0	0	-	-	
18日	0	0	97	0	0	×	×	
19日	0	0	71	0	0	×	×	
20日	0	0	63	0	1	×	×	
21日	0	0	41	0	0	200	1	
22日	0	1	53	0	0	-	-	
23日	0	1	55	0	0	×	×	
24日	0	0	50	0	0	×	×	
25日	0	1	51	0	0	200	1	
26日	0	1	62	0	0	×	×	
27日	0	0	98	0	0	×	×	
28日	0	0	88	0	0	200	1	
29日	0	1	138	0	0	×	×	
30日	0	0	93	0	1	×	×	
31日	0	0	104	0	0	100	1	
合計		9	2206	0	6			

11月	噴火回数	火山性地震回数4)			微動回数	噴煙の状況5)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	96	0	2	100	1	
2日	0	0	67	0	0	200	1	
3日	0	2	101	0	0	-	-	
4日	0	1	131	0	0	-	-	
5日	0	2	118	0	0	300	1	
6日	0	0	94	0	0	300	2	二酸化硫黄放出量 1,800~2,600トン/日
7日	0	0	83	0	0	300	1	
8日	0	0	108	0	0	×	×	
9日	0	0	92	0	0	×	×	
10日	0	0	88	1	0	×	×	
11日	0	0	102	0	0	×	×	
12日	0	0	133	0	0	×	×	
13日	0	1	122	0	0	×	×	
14日	0	1	76	0	0	×	×	
15日	0	0	77	0	0	300	1	
16日	0	0	84	0	0	-	-	
17日	0	0	114	0	0	200	1	
18日	0	3	130	0	0	-	-	
19日	0	0	213	0	0	-	-	
20日	0	0	187	0	0	-	-	二酸化硫黄放出量 1,600~2,200トン/日
21日	0	0	182	0	0	100	×	
22日	0	0	150	0	0	300	2	
23日	0	1	193	0	2	-	-	
24日	0	0	115	0	0	200	1	
25日	0	0	97	0	0	×	×	
26日	0	0	96	0	0	×	×	
27日	0	2	91	0	1	200	1	
28日	0	3	141	0	0	-	-	
29日	0	0	136	0	0	100	1	
30日	0	2	196	0	0	-	-	
合計		18	3613	1	5			

12月	噴火回数	火山性地震回数4)			微動回数	噴煙の状況5)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	105	0	1	×	×	
2日	0	0	106	0	0	×	×	
3日	0	0	112	0	1	200	1	
4日	0	0	112	0	1	300	1	
5日	0	1	133	0	0	200	1	
6日	0	0	260	0	0	-	-	
7日	0	2	129	0	0	100	1	
8日	0	0	171	0	0	×	×	
9日	0	0	132	0	0	×	×	
10日	0	0	137	0	0	200	1	
11日	0	0	148	0	1	200	1	二酸化硫黄放出量 2,000~2,700トン/日
12日	0	0	137	0	0	-	-	
13日	0	0	47	0	0	300	1	
14日	0	0	78	0	0	×	×	
15日	0	0	26	0	0	200	1	
16日	0	1	39	0	0	200	×	
17日	0	0	31	0	0	100	1	
18日	0	1	121	0	0	-	-	二酸化硫黄放出量 700~2,200トン/日
19日	0	0	82	0	0	300	1	
20日	0	0	100	0	0	300	2	
21日	0	1	144	0	0	×	×	
22日	0	0	168	0	0	×	×	
23日	0	0	89	0	0	200	1	
24日	0	0	126	0	0	200	1	
25日	0	0	160	0	0	×	×	
26日	0	0	227	0	0	100	-	
27日	0	0	229	0	0	-	-	
28日	0	0	234	0	0	-	-	
29日	0	1	146	0	0	-	-	
30日	0	0	215	0	0	200	×	
31日	0	0	170	0	0	-	-	
合計		7	4114	0	4			

表2の注釈

4) 火山性地震の計数基準はA点振幅で8  $\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間3秒以内です。低周波地震回数欄にある括弧内の数値は、空振を伴った低周波地震の回数を示しています。火山性地震の種類は以下のとおりです。

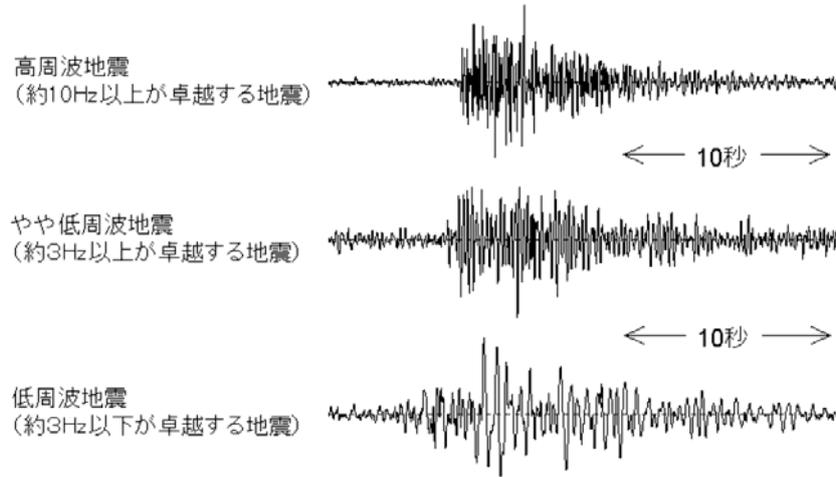


図11 三宅島 主に発生している火山性地震の特徴と波形例

5) 噴煙の高さ及び噴煙量は定時観測(09時・12時・15時)の日最大値です。噴煙量は以下の7階級で観測しています。

- 1: 極めて少量    2: 少量    3: 中量    4: やや多量    5: 多量    6: 極めて多量
- 7: 噴煙量6以上の大噴火で、噴煙が山体を覆う位に多く噴煙の高さは成層圏まで達したと思われるもの
- : 噴煙なし    x: 不明

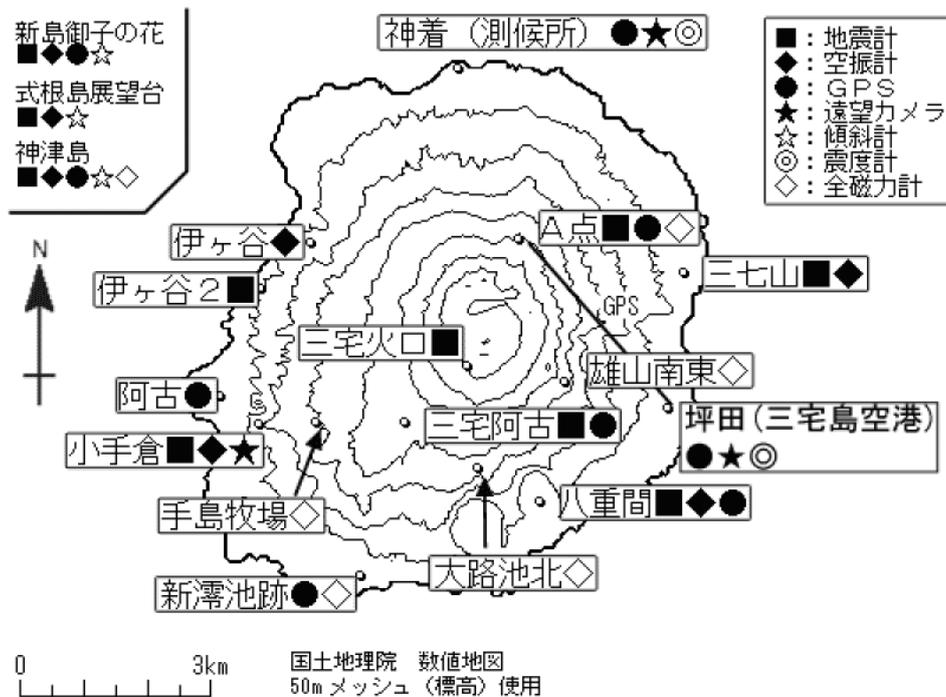


図12 三宅島 気象庁の観測点配置図 (小さな白丸は観測点位置を示しています)

表3 三宅島 気象庁の観測点一覧表

測器種類	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高 (m)			
地震計	三宅A点	34°06.0'	139°31.9'	473	0	1995.11.21	短周期 3成分
	伊ヶ谷2	34°05.5'	139°29.2'	112	0	2004.5.14	短周期 3成分
	小手倉	34°04.3'	139°29.2'	192	0	2004.5.13	短周期 3成分
	八重間	34°03.6'	139°32.2'	61	0	2004.5.12	短周期 3成分
	三七山	34°05.6'	139°33.7'	37	0	2004.5.13	短周期 3成分
	三宅火口	34°04.8'	139°31.4'	687	0	2004.3.27	短周期 3成分
	三宅阿古	34°04.3'	139°30.8'	470	0	2004.4.16	短周期 3成分
	新島御子の花	34°21.8'	139°15.5'	41	0	2000.8.5	短周期 3成分
	式根島展望台	34°19.5'	139°13.5'	23	0	2000.12.21	短周期 3成分
震度計	神着(測候所)	34°07.4'	139°31.3'	36	0	1992.4.1	
	三宅村役場臨時庁舎	34°04.2'	139°28.9'			2008.11.4	
空振計	三七山	34°05.6'	139°33.7'	37	2	2004.5.13	
	八重間	34°03.6'	139°32.2'	61	2	2004.5.12	
	小手倉	34°04.3'	139°29.2'	192	2	2004.5.13	
	伊ヶ谷	34°05.9'	139°29.8'	135	2	2000.7.9	
	新島御子の花	34°21.8'	139°15.5'	41	2	2000.8.5	
	式根島展望台	34°19.5'	139°13.5'	23	2	2000.12.21	
傾斜計	新島御子の花	34°21.8'	139°15.5'	41	-15	2000.8.5	
	式根島展望台	34°19.5'	139°13.5'	23	-7	2000.12.21	
	神津島沼尻	34°13.2'	139°08.0'	30	2	2001.2.8	
GPS	三宅A点	34°06.0'	139°31.9'	473		2001.11.29	1周波
	神着(測候所)	34°07.4'	139°31.3'	36		2000.10.13	1周波
	坪田(三宅島空港)	34°04.4'	139°33.5'	23		2004.3.6	1周波
	新滞池跡	34°02.9'	139°30.3'	38		2004.3.6	1周波
	阿古	34°04.5'	139°28.8'	34		2004.3.6	1周波
	八重間	34°03.6'	139°32.2'	61		2004.3.20	1周波
	三宅阿古	34°04.3'	139°30.8'	470		2004.3.20	1周波
	新島御子の花	34°21.8'	139°15.5'	41		2001.3.9	2周波
	神津島沼尻	34°13.2'	139°08.0'	30		2001.3.9	2周波
遠望カメラ	坪田(三宅島空港)	34°04.4'	139°33.5'	23	8	2000.12.7	高感度
	小手倉	34°04.3'	139°29.2'	192	60	2001.8.10	高感度
	神着(測候所)	34°07.5'	139°31.3'	36	8	2003.2.20	高感度
全磁力計	三宅火口	34°04.8'	139°31.4'	701	0	2004.3.29	高感度(休止中)
	三宅A点	34°05.9'	139°32.0'	473		2002.1.24	
	雄山南東	34°04.7'	139°32.4'	454		2003.2.25	2007年6月10日機器故障、観測終了
	大路池北	34°03.9'	139°31.5'	348		2001.2.20	
	手島牧場	34°04.3'	139°29.8'	293		2001.2.22	2008年12月2日観測終了
	新滞池跡	34°03.0'	139°30.2'	33		2001.2.22	
	村営牧場南西	34°04.3'	139°30.8'	468		2008.12.2	
	村営牧場西	34°04.5'	139°30.8'	473		2008.12.4	
神津島基準点	34°12.6'	139°08.9'	190		2001.2.18	基準点	